

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公開番号】特開 2013-173588 (P2013-173588A)
 【公開日】平成 25 年 9 月 5 日 (2013.9.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-048
 【出願番号】特願 2012-38770 (P2012-38770)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 5/28 (2006.01)

B 6 6 B 7/00 (2006.01)

B 6 6 B 11/00 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 5/28 Z

B 6 6 B 7/00 M

B 6 6 B 11/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 4 日 (2014.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スペーサ本体と、
 スペーサ本体の両端にそれぞれ設けられたフランジと、
 を有するカウンターウェイトスペーサの着脱作業に使用するカウンターウェイトスペーサ用治具において、
 隣接した 2 つのフランジを外周側から挟み込み可能な、少なくとも 2 個の断面コ字状の治具本体と、
治具本体に接続され、作業中における治具本体の落下を防止する落下防止金具と、
を有し、
落下防止金具は、治具本体の取り付け対象となるフランジ以外のフランジに取り付けられる、

ことを特徴とするカウンターウェイトスペーサ用治具。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のカウンターウェイトスペーサ用治具において、
 治具本体には、隣接した 2 つのフランジを締結する締結部材との接触を避けるための切欠き部が形成される、
 ことを特徴とするカウンターウェイトスペーサ用治具。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のカウンターウェイトスペーサ用治具において、
 治具本体は、下側のフランジとの接触面に設けられ、そのフランジに吸着する吸着部材を有する、

ことを特徴とするカウンターウェイトスペーサ用治具。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載のカウンターウェイトスペーサ用治具において、
 治具本体は、フランジとの接触面に形成され、治具本体とフランジの相対的移動を容易

にするガイド部を有する、

ことを特徴とするカウンターウエイトスペーサ用治具。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のカウンターウエイトスペーサ用治具において、

ガイド部は、上側のフランジとの接触面に設けられ、治具本体の長手方向に伸びるように形成される溝構造である、

ことを特徴とするカウンターウエイトスペーサ用治具。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか 1 つに記載のカウンターウエイトスペーサ用治具において、

治具本体は、長手方向の一端に、その長手方向に直交するフランジの外面に当接する当接部を有する、

ことを特徴とするカウンターウエイトスペーサ用治具。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のカウンターウエイトスペーサ用治具において、

当接部は、フランジに対応するように取り付けられる 2 つの治具本体を接続するように形成される、

ことを特徴とするカウンターウエイトスペーサ用治具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、スペーサ本体と、スペーサ本体の両端にそれぞれ設けられたフランジと、を有するカウンターウエイトスペーサの着脱作業に使用するカウンターウエイトスペーサ用治具において、隣接した 2 つのフランジを外周側から挟み込み可能な、少なくとも 2 個の断面コ字状の治具本体と、治具本体に接続され、作業中における治具本体の落下を防止する落下防止金具と、を有し、落下防止金具は、治具本体の取り付け対象となるフランジ以外のフランジに取り付けられることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】